

平成21年度事業報告

(概要)

平成21年度は、長引く不況の影響で企業からの受注が激減した反面、一般家庭の契約が大きく伸び、辛うじて予算並みの実績を堅持することができました。

企業の実績が大きく下落した原因には、適正就業の推進に伴う契約解除と人員不足によって、1,400万円超減少したことが挙げられます。幸い、本年度は、黒石市から国の景気対策の一環である緊急雇用対策事業を受注したこと、前年度よりも降雪が多かったこと、市民のシルバーに対する信頼度が深まったことなどから、契約金額は対前年比で1.7%減に踏みとどまっています。

一方、平成20年3月に決定した中期計画は、この2年間に大半が実施されており、計画事業の目玉施策である職群班に着手したことが、主要事業の一つに挙げられます。本年度設立した庭木班に続き、今後あらゆる業務において班制度を設けていく必要があり、この事業の成果が、将来のセンターの命運を担っているとと言えます。

また、市民に対するPR事業として、イラストによるチラシの毎戸配布、「黒石桜まつり」や「黒石よされ」の初参加をはじめ、会員の活動目的を明確にするため、ゴールド会員制を創設しました。

(事業)

1. 職群班の始動

庭木班を設置し、会員による現場の下見・見積書作成、安全管理の推進に努めました。初の試みであったため、見積書などは課題が判明し、今後改善する必要があります。

2. 請負方式への移行

剪定作業を手始めに出来高方式から請負方式に移行し、事前に見積金額を提示する明瞭なシステムとしました。

3. 安全・適正就業の徹底

安全就業の推進を図るため、21年度から、安全委員2人1組によるパトロールを毎月実施しました。

適正就業については、改めて基準に則って就業日数、就業内容等を精査しましたが、その結果、特定事業所との契約解消に至り、業績に影響を及ぼしました。

4. 普及啓発事業の拡大

清掃ボランティア、広報紙の発行の他、互助会と協力し、桜まつり支援ボランティア、黒石よされまつりへの参加をしました。また、ホームページを改善して情報量を増やしたほか、ホームページ上からの受発注を可能にしました。

5. 各種講習会、研修会の実施

連合会と共催でSP講習会を実施し、増加する一方のりんご作業に対応できる会員の育成に努めました。また、家事援助講習会や機器の操作講習会を実施し、新規就業者の育成、既存就業者の技能向上を図りました。